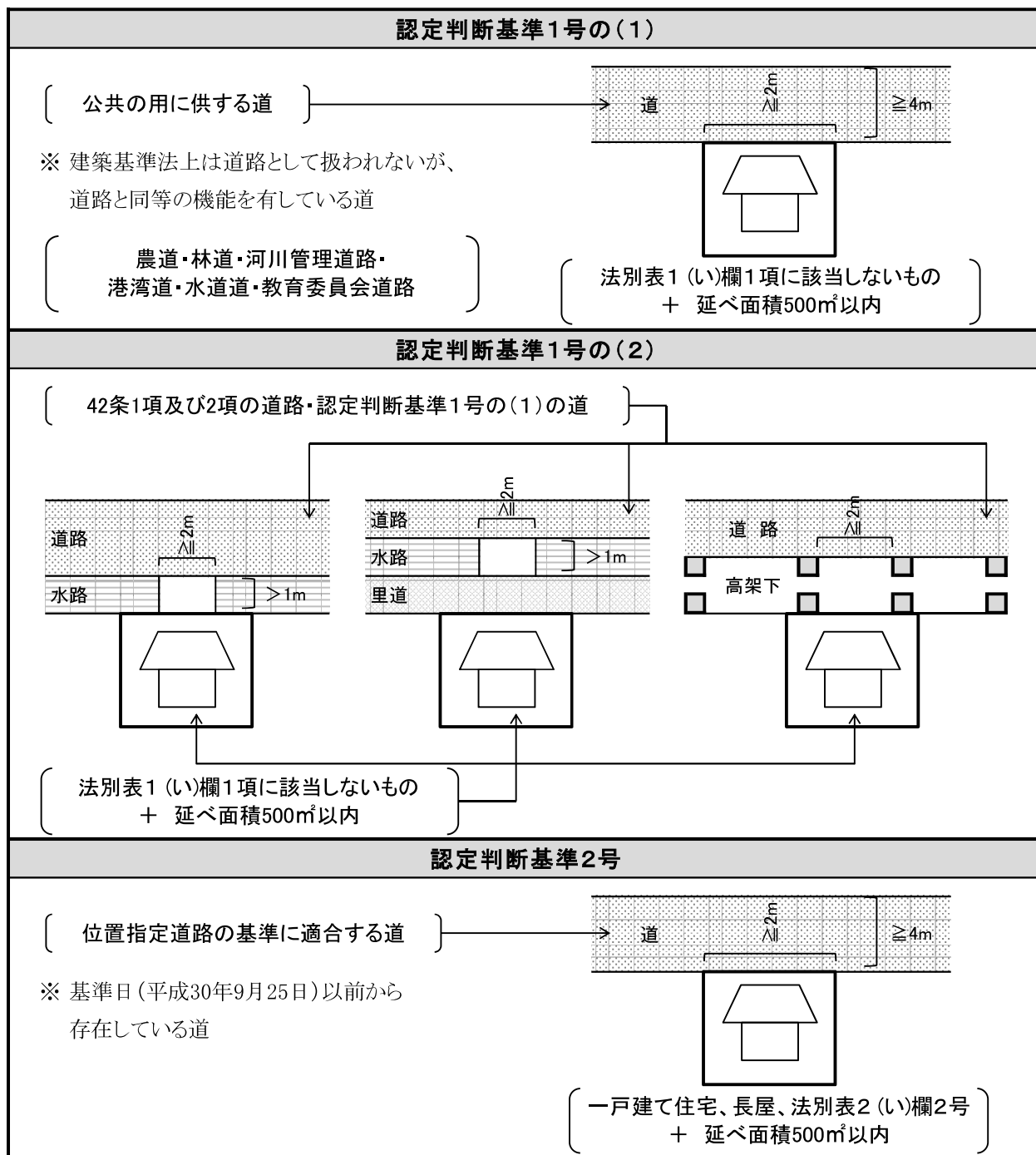
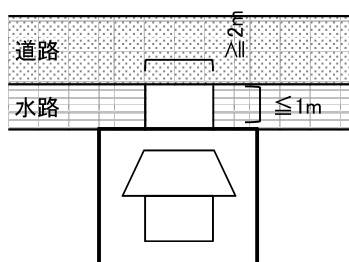


認定判断基準イメージ図

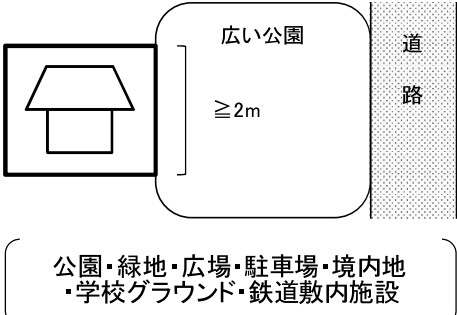
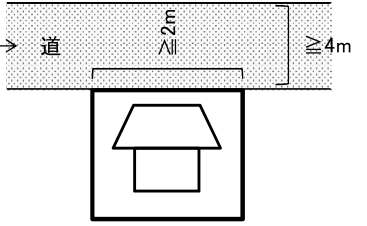
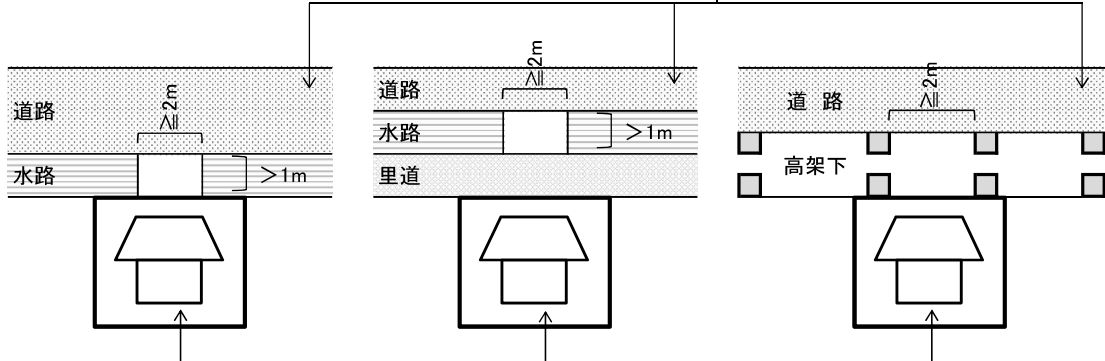
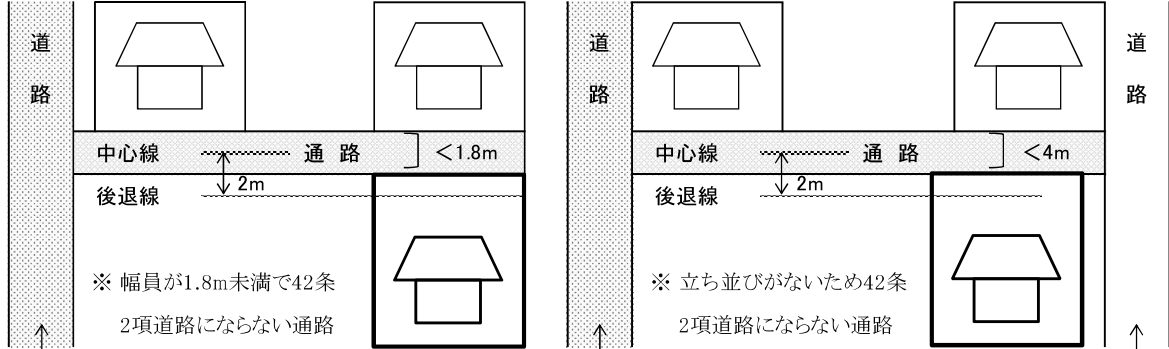


◆認定・許可不要事例



- ※ 幅員1m以下の河川・水路は道路の一部と扱う。
- ※ 道路と一体的に通行可能な里道は道路の一部と扱う。

許可判断基準イメージ図

許可判断基準1号	許可判断基準2号の(1)
 (公園・緑地・広場・駐車場・境内地・学校グラウンド・鉄道敷内施設)	[公共の用に供する道] →  ※ 建築基準法上は道路として扱われないが、道路と同等の機能を有している道 (農道・林道・河川管理道路・港湾道・水道道・教育委員会道路) (認定判断基準1号の(1)に該当しないもの)
許可判断基準2号の(2)	
(42条1項及び2項の道路・許可判断基準2号の(1)の道)  (認定判断基準1号の(2)に該当しないもの)	
許可判断基準3号の(1)の1、3号の(1)の2	
 ※ 幅員が1.8m未満で42条2項道路にならない通路 ※ 立ち並びがないため42条2項道路にならない通路	
(42条1項及び2項の道路・許可判断基準2号の(1)の道) ◆ 既存建築物の建替・増築・敷地内移転等のみ可能 ◆ 新築は認めない(現在更地等においても、建築物が基準日(平成11年5月1日)以前から存在していたことが確認できるもの(既存建築物の登記事項証明書の写し又は課税証明など公的機関の証明する書類等)があれば、許可できるものとする。(平成11年5月1日前に除却されていてもよい。))	
許可判断基準3号の(2)	
(電気通信事業用の鉄塔の附属建築物・山間部の気象観測施設・上下水道管理施設・灯台の附属建築物)	